

厚生労働省推薦

ゆずり葉の季節

はる

大切な人の

最期の願いを

かなえるために



作／松下哲子 演出／ふじたあさや 立案／小野宏志(医療法人社団 心)
音楽／川崎絵都夫 美術／矢羽田輝伸 照明／坂本義美 音響／山北史郎
衣裳／上保節子 制作／上保節子

制服を着て、カメラの前に立つ美咲。美咲は、この春から、中学生になる。

美咲のすぐ隣には、ベッドに横たわる祖母とし子。そして、父、母、叔母。さらに、とし子のかかりつけの医師や看護師がとし子を囲み、カメラに向かって笑っている。幸せそうな家族写真だ。しかし、この時、すでにとし子は、亡くなっている。なぜ、こんな写真を撮ることになったのか。撮ることができたのか。

初めて、身近な人の命と向き合うことになったとき、家族それぞれの思いが交錯する。

「旅立つとし子が残したものは？」「それを受け取った家族の想いとは？」

上演にあたって

命とはなんだろう。生きているとは、死ぬとは。「命は、かけがえないもの。誰の命も奪うことはできない。」みんなが、命の大切さを躍起になって訴え、死を連想させるものを排除する。でも、本当にそれでいいのだろうか？死を感じるからこそ生を強く感じるができるのではないか。昔は病院も少なく、家で亡くなるのが当たり前であった。死がとも身近にあり、家族が亡くなるその時まで、共に死について考え、その人の一生、人生、生き方について考える。去っていくものと残されたもの。それぞれが真剣に向き合う。それが、家で家族を看取ることの意味にながっていくのではないだろうか？一般公演で「ぜひ、この作品を中高生に！」と、熱い声が。ゆずり葉のように受け継がれてきた命に幸せを感じてもらえたら……。

劇団創立74年。「子どもたちに夢を」小中学校の演劇教室を中心に活動。

公益社団法人 教育演劇研究協会



劇団 たんぽぽ

〒435-0015 静岡県浜松市東区子安町323-3 TEL053-461-5395 FAX053-461-6378